

呉市観光振興計画(案) に対する市民意見の結果について

1 呉市観光振興計画(案) に対する市民意見

呉市観光振興計画（以下「本計画」といいます。）の策定に当たり、令和3年6月10日（木）から令和3年7月9日（金）までの30日間、本計画に関する意見募集を行ったところ、次のとおり34件（16名）の意見が提出されました。提出された意見に対する市の考え方は次のとおりで、これによる本計画の修正はありません。なお、提出された意見のうち、3件（2名）は、本計画に関する意見ではありませんでした。

提出された意見の要旨	市の考え方
第2章 呉市の観光の現状と課題	
<p>(1) 16ページの呉市の観光振興における課題に「観光客は何を求めているのかというニーズを把握することが重要」、「観光客にストレスなく呉の観光を楽しんでもらえるためのニーズに基づいた受入環境を継続的に改善していくことが必要」と書かれているが、観光客の部分を呉市民に置き換え、呉市民の楽しいこと、うれしいこと、したいことは何かを把握することも重要であると思う。</p> <p>呉市民の参加が本計画を進める上で重要なポイントになると思うので、呉という舞台の主役は、呉市民だと意識してもらうことが必要であると思う。</p>	<p>呉市民が楽しい、うれしいと思っていることを把握することは、観光客に効果的なプロモーションを行う上で重要なことであると考えていますので、今後は、市民も含めたニーズ調査を行っていき、市民ニーズも把握していきます。</p> <p>また、本計画を推進する上で市民の参画（理解）は重要であり、呉市民の観光産業への参画については、市民一人一人が「観光は自分たちの生活を支える大切な産業である」という意識を持つことができる講座などを開催するとともに、観光が呉市経済に与える好影響を市民が実感できるよう、市内の優良事例などを効果的に情報発信していくことで促進していきたいと考えています。（30ページ）</p>

提出された意見の要旨	市の考え方
第3章 私たち呉市民の目指すべき姿	
<p>(2) 26ページの「さらに大切なこと その1」に「観光客にたくさん消費してもらおうという観点も重要ですが、私たち呉市民が、呉市内の商品やサービスを少しでも多く消費するという意識を持つことも、これからの少子高齢化による市内総生産額の減少を補うために重要な視点となります」と書かれているが、これこそが本計画の本題だと思う。まずは、呉市民に「呉ファン」になってもらうことが重要であると思う。</p>	<p>観光客の消費も重要なことですが、私たち呉市民が市内の商品を少しでも多く消費することも、これからの市内総生産額の減少分を補うために重要な視点になります。</p> <p>そのため、今後は、呉市内で提供されている商品やサービスを購入した場合の経済効果について講演会を開催するなど、市民意識の向上を図っていき、一人でも多くの市民の理解を深め、「呉ファン」になっていただきたいと考えています。</p>
<p>(3) 「私たち呉市民が豊かで幸せに暮らし続けられるまち」なら観光客が訪問したくなると思う。</p>	<p>市民に共感されないものは現実感に乏しく、市民が愛着を持ち、誇りに思えるまちになることが、呉市の魅力を更に高め、ひいては観光客の満足度の向上にもつながると考えています。</p> <p>観光産業の発展により、私たち呉市民が豊かで幸せに暮らし続けられるまちになるように、今後は、市民・事業者・行政など観光に関わる全ての人々が共通の認識を持ち、協力し合いながら、呉市の観光を盛り上げていきたいと考えています。</p>
第4章 具体的な取組	
<p>(4) 呉市には、休山や灰ヶ峰などの自然、カキや小イワシなどの食、海軍の歴史など様々な観光資源があるが、十分に活用してもらいたい。</p>	<p>呉市には、豊かな自然や食、歴史など様々な観光資源がありますが、十分に発信・活用できていない現状があると考えています。</p> <p>今後は、観光客の消費動向やニーズをデータとして把握し、地域事業者の皆様に、その分析結果を提供していくことで、観光客のニーズに沿った魅力的で新しい商品・サービスの開発や既存商品のブラッシュアップにつなげるなど、呉ならではの観光資源を磨き上げ、活用していきたいと考えています。(28, 29ページ)</p>

提出された意見の要旨	市の考え方
<p>(5) これまでの呉市の観光は、安易なグルメ情報やメジャーな観光施設を取り上げてばかりで、内容に深みがありませんでした。また、観光事業に携わる人も県外や市外のアドバイザーに頼り、企画も単年度で終わったり、あまり効果のないことをしていたように思います。</p> <p>呉市には、鎮守府、海上自衛隊との関係、日本遺産、自然など、全国でも非常に恵まれた観光資源がありますが、呉に住んでる人は、それが当たり前すぎて、その魅力をありがたく思っていないかったり、実はあまり知らなかったりもします。</p> <p>私たちは、一人でも多くの人に、呉が歩んできた歴史を知ってほしいと願い、和庄・両城・宮原・警固屋などを呉の歴史を学びながら歩く、「くれの街歩き」を企画運営し、かなりの手応えを感じています。</p> <p>これからこの「まち歩き」の楽しさを持続運営するには、地元の人としっかり連携して、呉市を詳しく案内できるガイドの育成、歩く場所の整備、スマホのアプリを使って場所の歴史が分かるようしたり、ゲーム性を持たせて楽しませるなどの要素を取り入れ、「まち歩き」を観光の一つのプログラムにしたいと思います。</p>	<p>呉市には日本遺産を始めとする歴史や文化、自然、農水産品など、様々な観光資源がありますが、そうした魅力的で豊富な観光資源を、観光客のニーズに沿った形の体験コンテンツやお土産などの商品開発にうまく結び付けられていない現状があると考えています。</p> <p>今後は、観光客の消費動向やニーズをデータとして把握して、地域事業者の皆様に、その分析結果を提供していくことで、観光客のニーズに沿った魅力的で新しい商品・サービスの開発や既存商品のブラッシュアップなどにつなげていき、観光客の皆様を選ばれ続ける観光都市にしていく必要があると考えています。(28, 29ページ)</p>
<p>(6) 呉市には歴史、文化、自然など観光資源がたくさんある。そういった既存の観光資源を組み合わせ、昼や夜の観光を充実させる必要がある。</p>	

提出された意見の要旨	市の考え方
<p>(7) 呉市には、グルメ、産業観光、自然、サイクリングなど様々な観光資源があるが、うまく活用できてない。</p> <p>多様な顧客ニーズに合わせた観光プロダクトをもっと充実させる必要があると思う。</p>	<p>呉市には日本遺産を始めとする歴史や文化、自然、農水産品など、様々な観光資源がありますが、そうした魅力的で豊富な観光資源を、観光客のニーズに沿った形の体験コンテンツやお土産などの商品開発にうまく結び付けられていない現状があると考えています。</p> <p>また、観光客のし好は、歴史や文化、自然、アウトドアアクティビティ、グルメ、アニメなど、幅広い分野に多様化しています。</p> <p>現在の呉市では、多様化する観光客のニーズを把握できていないため、今後は、観光客の消費動向やニーズをデータとして把握して、地域事業者の皆様に、その分析結果を提供していくことで、観光客のニーズに沿った魅力的で新しい商品・サービスの開発や既存商品のブラッシュアップなどにつなげていき、観光客の皆様を選ばれ続ける観光都市にしていく必要があると考えています。(28, 29ページ)</p>
<p>(8) 呉市は、瀬戸内の景観や近代日本形成の針路を決定付けた呉軍港関連の歴史遺産など、全国でも第一級の観光資源がそろっていますが、交通機関等の問題で効率良い観光が難しい。</p> <p>そのため呉市は、バスツアーやクルージングなど「団体ツアー」を観光振興施策の柱にすべきと考える。</p> <p>しかし、現在の「団体ツアー」はワンパターン化し、変化に富むコースの設定ができていない。</p> <p>今後は、呉市の物語ツアーやツアーのエリアを周辺市町に広域化するなど、多様なツアー商品を開発し、リピーターを増やしていくべきだと考える。</p>	<p>呉市には、瀬戸内の景観や鎮守府関連の歴史遺産など、様々な観光資源がありますが、うまく活用できていない現状があると考えています。</p> <p>今後は、観光客の消費動向やニーズをデータとして把握して、地域事業者の皆様に、その分析結果を提供していくことで、観光客のニーズに沿った魅力的で新しい商品・サービスの開発や既存商品のブラッシュアップなどにつなげていき、観光客の満足度を高め、リピーターを増やしていきたいと考えています。</p> <p>団体ツアーを観光振興施策の柱にすることについては、今後の参考とさせていただきます。(28, 29ページ)</p>

提出された意見の要旨	市の考え方
<p>(9) 呉市は、高齢者の方々が 많이 地域である。</p> <p>若い人を増やすとか、子供を増やして皆で育てる等の意見はよくあるが、逆に高齢者に特化したモデル地域を目指したら良いと思う。</p> <p>呉市は、病院も多く比較的気候も温暖で災害も少なく、老人に優しい町なため、老人が集まれる西の巣鴨のような形を目指したらどうでしょう。</p> <p>駅前で古い映画を放映したり、旅芸人等のお芝居を見るレトロな劇場、屋台村、老人に特化したおしゃれなカフェ、老人福祉関係の窓口などを駅前に集約して、近隣の広島市、東広島市などからも呉に行けば楽しいと言われ、続々と人が訪れてくれれば、若い人達の職も増えていくのではと考えます。</p>	<p>本計画における、ターゲットの明確化については、「第4章 2 取組方針 基本方針1 ターゲットの明確化 1 マーケティングによる戦略策定」の中で、マーケティングの視点を取り入れ、顧客ニーズを把握・分析した上で、戦略策定していくこととしています。</p> <p>呉市では、観光客のニーズを把握するため、デジタル技術などを活用した顧客データベースを構築し、観光客の消費行動などを分析した上で、具体的な取組を検討・実施していきたいと考えています。</p> <p>(28 ページ)</p> <p>頂いた御意見は、今後の観光施策を考える上で参考にさせていただきます。</p>
<p>(10) 友人や知人が呉へ遊びに来てくれる際、観光地が分からず、毎回インターネットで調べている。</p> <p>観光に特化したモデルコース、食事に特化したモデルコースの作成など、目的別のコースを作成することは、こういった際に役立ち、県外及び市街からの旅行に行く際の検討材料となるため大変良いと考える。</p>	<p>呉市観光のモデルコースの作成については、令和元年度に呉市に訪問経験がある方を対象に実施したアンケート調査で、「呉市観光に対する改善事項」の1位に挙げられた項目であるため、今後のマーケティング結果等を踏まえ、早急に対応すべき改善事項であると考えています。(15, 30 ページ)</p>
<p>(11) 旧軍港のイベントはあるが、単発にとどまっている。リピーター確保のためにも、イベントを評価分析し、継続的に楽しめるような取組が必要だと思ふ。</p>	<p>イベントを含めた今後の観光施策については、マーケティングの視点を取り入れ、観光客の動向やニーズ等を把握・分析した上で戦略を立てて実施していく予定としています。</p> <p>満足度の高い観光プロダクトの充実、観光客が継続して楽しめるような仕組みを作っていく必要があると考えています。</p>

提出された意見の要旨	市の考え方
<p>(12) 呉は、明治以降の海軍の歴史はもとより、風光明媚な島しょ部、グルメなど、観光資源が豊富にあり、映画や小説、漫画の舞台にも取り上げられ、話題に事欠きません。</p> <p>しかし、効果的な情報発信ができていないため、呉市の観光資源の充実ぶりが内外に知られていなく、大和ミュージアムを中心とした通過型の観光地になっています。</p> <p>今後は、呉ならではの満足度の高い観光プロダクトの開発を行い、それらを一つにまとめ、総合的に分かりやすく情報発信することにより、関係人口を増加させる必要があると思います。</p>	<p>今後は、呉市の観光情報を一元化する観光情報プラットフォームを構築するとともに、顧客データベースを活用した効果的な情報発信を行うなど、呉市全体で顧客のニーズに即した戦略的なプロモーションを行い、観光客の皆様選ばれ続ける観光都市を目指していきたいと考えています。(28ページ)</p>
<p>(13) 「孤狼の血」「この世界の片隅に」「艦隊これくしょん」など、世界的・全国的にファンの多いコンテンツはたくさんある。</p> <p>市がやるべきか、民間企業がやるべきかはともかくとして、良いカルチャーを、観光客にがっかりさせないような整備を行わないと、リピーターにはならない。「この世界の片隅に」だけでなく、呉を舞台・モチーフにした作品の有名地などを紹介するサイトなどがあればいいと思う。</p>	<p>呉市には、世界的・全国的にファンの多いコンテンツがたくさんあると考えています。</p> <p>こうした観光資源を効果的に情報発信していくため、今後は、呉市の観光情報を一元化する観光情報プラットフォームを構築し、呉市全体で顧客のニーズに即した戦略的なプロモーションを行っていき、リピーターの獲得につなげたいと考えています。(28ページ)</p>
<p>(14) 呉が舞台となっている映画はたくさんあり、それらを使ってもっと観光客を呼び込むことができると考えます。映画は発信力が大きいので、これを機に呉を知る人がいるはずで。</p> <p>その人達に訪れてもらえるように、聖地巡礼のルートインターネットなどで発信すると思う。</p>	<p>今後の情報発信の取組については、呉市の観光情報を一元化する観光情報プラットフォームを構築し、呉市全体で顧客のニーズに即した戦略的なプロモーションを行っていき、リピーターの獲得につなげたいと考えています。(28ページ)</p> <p>聖地巡礼のモデルコースについても、その他のモデルコースと合わせて情報発信していく必要があると考えています。</p>

提出された意見の要旨	市の考え方
<p>(15) テレビのサザエさんの観光地紹介に呉市を取り上げてもらう。</p> <p>また、テレビだけでなく、学生などに依頼し、呉市の観光について情報発信してもらい、呉市の知名度アップにつなげてほしいと思う。</p>	<p>観光客は、行政や民間事業者からの一方的な情報発信だけでなく、SNSによる口コミから観光地を選択するなど情報を取得する手段は多様化しています。</p> <p>今後は、呉市の知名度アップのため、呉市全体で顧客ニーズに即した戦略的なプロモーションを行っていきます。</p> <p>また、市民からの自発的な情報発信の促進にも取り組んでいきます。(28ページ)</p>
<p>(16) 情報化社会が進んでいて、観光客のニーズを知るためにブログやSNSの投稿を有効活用すべきだと考えます。</p> <p>過去についての投稿は、実際に訪れた観光客の投稿から、「見る」「食べる」など、どのような行動をしたのかを情報収集できる。</p> <p>未来についての投稿は、訪れようと思っている人のツイッターなどの投稿から、どのような場所を訪れ、どのようなことを知りたいかという情報を収集できる。</p> <p>ブログやSNSの投稿の中から過去や未来についての投稿を情報収集することで観光客のニーズを知ることができると思う。</p>	<p>本計画では、マーケティングの視点を取り入れながら、施策の立案等、観光振興に取り組んでいく予定としています。</p> <p>観光客の動向やニーズを把握する方法は、幾通りも考えられますが、今後は、ニーズの把握方法について研究し、より効果的な方法でニーズを把握・分析することにより、付加価値の高い観光プロダクトの開発につなげていきたいと考えています。</p> <p>頂いた御意見は、今後のマーケティング等の参考にさせていただきます。</p>
<p>(17) 今回の計画によって、呉が観光に力を入れていくのだということが分かった。</p> <p>何事も運営するのは「人」。まずは「呉に来てくれ」だが、「来てくれてありがとう」も大切にしなければリピートはない。呉市内外の人が、互いに一期一会を大切に、おもてなしの心が重要だと思うので、そのことが分かる計画にしてほしい。</p>	<p>旅行中での地域住民との触れ合いや親切な市民の観光案内等は、観光客の満足度を高め、旅先での良い思い出になっていきます。</p> <p>さらに、こうした観光客と市民との交流は、市民の地域への愛着や誇りといった郷土愛を育むことにもつながっていくため、今後も講演会やワークショップ等の開催を通じて観光客を受け入れる市民意識の向上に努め、おもてなしの心を高めていきたいと考えています。(30ページ)</p>

提出された意見の要旨	市の考え方
<p>(18) 呉市の観光は、お金も時間も人手も足りていなく、課題が山積みですが、観光という産業を盛り上げていくためには、行政や観光業界だけでなく呉市民も巻き込み「オール呉」で様々な課題に取り組んでいく必要があります。</p> <p>現在の呉市は、観光に来ていただいたお客様から「どんな面白いところがある?」「グルメは何がおいしい?」と聞かれても、答えられない市民が多いのも現実。</p> <p>市民が呉市の広告塔にならないといけません。そのためには、まず市民に呉の町のすばらしさや良いところを知ってもらう必要があると思う。</p>	<p>観光という産業を盛り上げていくためには、市民一人一人が観光は自分たちの生活を支える大切な産業であるという意識を持つことが必要であると考えていますので、そのための講座などを開催していきます。</p> <p>また、飲食や宿泊などに限らず、道案内などを通じた自然体で明るく親切な地域住民との触れ合いは、観光客の満足度を高め、旅先での良い体験として思い出になっていきます。</p> <p>こうした交流は、市民の地域への愛着や誇りといった「郷土愛」を育むことにつながっていくため、今後は、地域の歴史や文化などについて深く語れる学びの機会を提供していきたいと考えています。(30ページ)</p>
<p>(19) 観光客が現地で観光ガイド等の説明を受けるのは、全体の1パーセントにも達しません。</p> <p>観光先進地では、市民が観光客に対して道案内や何気ない会話をするなど、街全体で歓迎する雰囲気があり、観光客の満足度を高めています。</p> <p>しかし、呉の場合は、全域を通じて市民が観光客に対して無関心で、協力的ではありません。</p> <p>そのため、今後は、市民の観光に対する意識を高め、呉市の観光施策に市民も巻き込む体制が必要であると考えます。</p>	<p>旅行中における目的地への道案内や、バスの中での会話といった地域住民との触れ合いは、観光客の満足度を高め、旅先での良い体験として思い出になると考えています。今後は、地域の歴史や文化などについて深く語れる学びの機会の提供や講演会等で啓発を行い、呉市全体で歓迎する雰囲気を作り上げていきたいと考えています。</p> <p>また、市民一人一人が「観光が自分たちの生活を支える大切な産業である」という意識を持つことができる講座やワークショップなどの開催や観光が呉市経済に与える好影響を市民が実感できるよう、市内の優良事例などを効果的に情報発信していくことで、市民の観光に対する意識を高め、市民と一緒に呉市の観光を作り上げていきたいと考えています。(30ページ)</p>

提出された意見の要旨	市の考え方
<p>(20) 幼少期からのシビックプライドの醸成のため、小学生の遠足を山登りや市街地への工場見学とするのではなく、呉市内の観光地へ行くよう教育委員会へ呼び掛けると良いと思う。</p>	<p>呉市の文化と歴史を知り、呉市への郷土愛を育てるため、小学校4, 5, 6年生が入船山記念館、大和ミュージアム、御手洗町並み保存地区などの観光地に行き、地域の歴史や文化などについて学習を行っています。</p> <p>今後も、教育委員会と連携しながら、郷土に対する理解と関心を深める体験学習を充実させる必要があると考えています。</p>
<p>(21) 市民の中には、大和ミュージアムに行ったことがない人もいます。呉市の観光を良くするためには、市民に支持される観光地を目指す必要がある。</p>	<p>市民から日常的に愛されている観光資源が、最終的には残っていると考えています。</p> <p>今後は、市民を対象にしたワークショップを開催するなど、観光資源の磨き上げを行い、市民に支持される観光地を目指していく必要があると考えています。</p>
<p>(22) 受入環境について、一般的に駅の構内や正面出口付近に立地する観光案内所の場所が呉市の場合は分かりづらいため、分かりやすい場所への移動や増設を検討する必要があると思う。</p> <p>また、バリアフリーやコインロッカーの整備、滞在時間・興味別のモデルコースの案内が必要であると思う。</p>	<p>呉市を訪れた観光客にストレスなく楽しみ、少しでも長く滞在していただくためには、適切な場所への観光案内所の設置やバリアフリーなど受入環境を充実させる必要があると認識しています。</p> <p>今後は、スマートフォンなどの検索機能を活用した地域案内、ニーズに基づいたモデルコースの作成、安全で安心して観光できる環境づくり、プロフェッショナルガイドなどの人材育成等により受入環境を整備し、多様な顧客ニーズに対応していきたいと考えています。(30ページ)</p>
<p>(23) 現在もある観光マップに、観光客の生の声を聴き、市民と一緒に新しい観光マップを作成してはと思う。</p>	<p>今後は、市民全体の観光産業に対する意識醸成を図るため、市民を対象にしたワークショップを開催し、観光マップの作成などを行っていきたくと考えています。</p> <p>頂いた御意見は、今後の観光施策を考える上で参考にさせていただきます。</p>

提出された意見の要旨	市の考え方
<p>(24) 観光ルートの提案や道案内システムの導入をすれば、観光客が訪れた時の利便性の向上につながると考えます。スマートフォンは、ほとんどの人が持つ世の中になっていて、観光の際に持ち歩いているはずで、呉市専用アプリなどを導入し、おすすめの観光ルートを提案したり、マップとともに観光地や飲食店を表示できるようにすれば、初めて呉に来た人にも分かりやすい観光支援ができると思います。</p>	<p>呉市を訪れた観光客に少しでも長く滞在してもらうためには、満足度を高め、ストレスなく楽しんでもらえる観光地としての受入環境を充実させる必要があります。</p> <p>今後は、スマートフォンなどの検索機能を活用した地域案内やニーズに基づいたモデルコースの作成などにより受入環境を整備し、多様な顧客ニーズに対応していきたいと考えています。(30ページ)</p> <p>呉市専用アプリの導入については、今後検討していきたいと考えています。</p>
<p>(25) 呉市内には座ってくつろげる椅子の設置が少ない。呉市は高齢者が多いため、休憩をとるスペースがあれば、休憩をしている高齢者と観光客とのコミュニケーションが生まれ、高齢者の方々が呉市の色々な話をされることによって、観光客との交流が深められると考える。</p>	<p>飲食や宿泊などに限らず、道案内などを通じた自然体で明るく親切な地域住民との触れ合いは、観光客の満足度を高め、旅先での良い体験として思い出になっていきます。</p> <p>今後は、観光客と地域住民との交流の機会を促進するため、地域の歴史や文化などについて深く語れる学びの機会の提供や休憩スペースの設置を検討するなど、受入環境を整備し、観光客の多様なニーズに対応していきたいと考えています。(30ページ)</p>
<p>(26) 呉市の観光の回遊性を向上させるため、次世代モビリティの積極的な採用や、各地で電動自転車をレンタルできるようにしてもらいたい。</p>	<p>呉市では呉駅周辺地域総合開発において、将来の次世代モビリティの実装を視野に入れた機能導入を目指しています。これまでに自動運転バスによる交通社会実験などを実施し、新たな公共交通体系の構築に向けた検討を進めているところです。</p> <p>また、電動自転車レンタル事業を促進するため、民間事業者等の支援を行っています。</p> <p>今後も、観光客の動向やニーズ等を把握、分析しながら受入環境整備の充実に努めていきたいと考えています。</p>

提出された意見の要旨	市の考え方
<p>(27) 受入体制の充実に関して、バスの利用環境の整備を追加してはどうか。観光客の目線から見ると、バス停からどの観光スポットに行けるのか、視覚的・直感的に分からない。案内所の強化や看板の設置など受入体制の整備を行ってほしい。</p> <p>各パンフレットを見ても、地図に場所と距離と車で何分としか書かれておらず、バスなどの公共交通機関で行ったほうがいいのか、歩いた方がいいかなどが分かりにくい。大人数の観光をイメージした駐車場だけでなく、個人で行動する観光客に対するストレスのない観光環境を整えてほしい。</p> <p>バス停と観光地と道路（横断歩道など）の位置関係が、必ずしも最適な状況になっていないので、観光客の安全を確保する意味でも観光地の周辺環境をどうすべきか考えてほしい。</p> <p>広島空港に到着して、呉駅へのバスが出るまでかなりの長い時間がある。せっかくの観光の時間を移動所要時間で費やすのももったいない。是非改善いただきたい。</p>	<p>本計画は、観光産業を呉市の新たな基幹産業の一つに成長させていくために、市民・事業者・行政など、観光に関わる全ての人が、どのような考え方や方針で観光産業に取り組んでいくのかという大きな方向性を示すものであるため、個別具体的な取組内容は定めていません。（8ページ）</p> <p>しかし、バスの利用環境の整備等を含めた具体的なハード面の整備・充実については、観光客を受け入れる上で、重要なことと考えているため、今後、顧客ニーズを把握した上で検討し、必要に応じて関係機関と協議していきたいと考えています。</p>
<p>(28) 第5次呉市長期総合計画の政策分野6施策3道路の整備について、KPIで設定されている呉市内の主要渋滞箇所における年間渋滞損失時間の削減にも絡んでくるが、土日限定で観光客向けに呉市役所の駐車場を開放し、モデルルートを巡る観光（乗り合い）タクシーを設置してはどうか。</p> <p>タクシーは借り上げではなく、デマンド型によって運行し、観光に来た人同士で乗り合うことも考えられる。呉市役所の駐車場を無料で利用することで、市内で観光客による低速運転等を防ぎ、渋滞の原因となり得る要因を一つでも削除できると考えられる。</p>	<p>市役所駐車場の開放や無料での利用については、周辺駐車場への影響を及ぼすなど、民業圧迫にもなりかねないため慎重に検討すべきものと考えています。</p> <p>デマンド型乗合タクシーの運行については、今後の観光・交通施策を考える上で参考とさせていただきます。</p> <p>また、観光タクシーについては、民間事業者が「旅タクシー」という取組を行っており、呉市内及び島しょ部で8ルートが商品化されています。</p>

提出された意見の要旨	市の考え方
<p>(29) 呉と広島空港間のリムジンバスについて、東広島新幹線口を経由することができれば、観光での利用も考えられ、通勤通学にも便利になるため、利用率が向上すると思う。</p>	<p>呉と広島空港間のリムジンバスを東広島新幹線口へ經由することについては、顧客ニーズを把握した上で検討し、必要があれば関係機関と協議したいと考えています。</p>
<p>(30) ホテルが少なく泊まる場所がない。また、キャンプ場も少ない。交通アクセスが良く、海が見える位置にキャンプ場が整備されればリピーターが増えると思う。</p>	<p>交通アクセスや景観の良いホテル、キャンプ場が整備されれば、新たな観光客層の獲得やリピーターの増加につながり、観光の活性化に寄与するものと考えています。</p> <p>一般的に、民間事業者が事業展開する場合は、需要に基づく採算等を考慮して実施されることから、呉市内にそうした施設が少ない現状は、需要が不足しているものと考えています。</p> <p>今後は、観光客の消費動向やニーズをデータとして把握しながら、リピーターを増やす取組を行っていきたいと考えています。</p>
<p>(31) 野呂山が大好きです。瀬戸内の眺めは素晴らしいです。 宿泊施設はありますが古いし、絶景スポットまで距離があります。絶景を眺めながらの宿泊や露天風呂があれば近くの市民はもちろん全国から利用者が来ると思います。 春の桜ロードも美しいです。是非、全国の皆さんにも体感してもらいたいです。</p>	<p>野呂山は、そこから望める瀬戸内海の景観や自然を体感できる、呉市の観光面においても重要な資源であると認識しています。</p> <p>この重要な観光資源を将来にわたり活用し、振興するためには、施設の老朽化対策や管理コストといったハード面での検討と、コロナ禍によって変化したライフスタイルや、利用需要の変化にも対応したサービスを野呂山で提供するといったソフト面での検討も必要であると考えています。</p> <p>野呂山が、より多くの幅広い方々に利用され、将来にわたって呉市の宝として振興していくために、今一度、野呂山の持つポテンシャルや他に誇れる魅力を、マーケティングや民間のノウハウを活用しながら検証し、野呂山の活性化につなげていくことができるような取組を行っていきます。</p>

提出された意見の要旨	市の考え方
<p>(32) 中通り等の商店街は、飲料容器やたばこの吸い殻が散乱するなどしているため、ゴミのポイ捨てを禁止するなど街の美化に努める必要がある。</p> <p>また、観光地の案内人としての役割も果たす、タクシー運転手のマナーが悪い。</p> <p>街の美化と市民の道德意識なくして観光客は来ないと思う。</p>	<p>呉を訪れた観光客に少しでも長く滞在してもらうには、ストレスなく楽しんでもらえる観光地としての受入環境を充実させる必要があります。</p> <p>都市環境の美化等の推進については、平成7年に呉市ポイ捨て等防止に関する条例（平成7年呉市条例第7号）を施行し、市中心部をポイ捨て禁止にする環境美化推進重点区域に指定し、告知看板を設置するなど啓発活動に努めています。</p> <p>市民の道德意識については、今後、「観光が自分たちの生活を支える大切な産業であるという意識を持つことができる講座」などを開催し、市民意識の向上を図り、安全で安心して観光できる環境の実現を目指していきたいと考えています。（30ページ）</p>
<p>第5章 新たな観光推進体制</p>	
<p>(33) 新たな観光推進体制の整備に当たっては、多角的な視点をもった人が、ハード・ソフト両面の整備を行ってほしい。</p>	<p>新たな観光推進体制の整備に当たっては、呉市全体としての推進体制とともに、地域の稼ぐ力を引き出すことや、地域内の経済循環を高めることなど、地域経営の視点にたった持続可能な観光地域づくりを推進する中核的な役割を担う、新しい組織の設立が必要であるとと考えています。</p> <p>今後は、こうした新たな体制・組織の整備を検討する中で、多角的な視点をもった専門的な人材を登用することについても検討していきたいと考えています。（31ページ）</p>

提出された意見の要旨	市の考え方
<p>(34) 呉市の観光振興策や戦略を企画・立案するチームを設立する必要がある。</p>	<p>観光を基幹産業に成長させるためには、地域が一体となった取組が必要であり、呉市全体で共通認識・共通理解を持つことが大切であると考えています。</p> <p>そのため、今後は、市民・事業者・行政が一体となり、それぞれが役割と責任を担いながら互いの理解を深め、連携し、情報共有していくことができる「新たな観光推進体制」の構築を目指していきます。(31ページ)</p>

2 今後の予定

本報告に関して議会から頂いた意見を踏まえ、本計画を策定し、9月中に公表する予定です。